



安心して住み続けられる胆振の実現に全力

北海道議会議員(胆振地域)

戸田 安彦
と だ や す ひ こ

「攻守創新」道政だより

令和6年
5月1日(水)
発行

ごあいさつ

皆さま、こんにちは。日頃より私の活動に対しまして、ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

おかげさまで道議会での活動をスタートしてから、はや1年を迎えました。昨年は物価高騰や人手不足に悩む事業者への支援、子育て世帯の負担軽減、観光業や一次産業の振興、防災・減災のためのインフラ整備などに力を注いでまいりました。引き続き、地域の代弁者として、胆振・北海道の新時代を創出する「攻守創新」の精神で山積する課題に取り組んでいきます。

道の新年度予算では「安心して住み続けることができる地域づくり」に向けた約3兆円が計上されました。アイヌ文化復興拠点「ウポポイ」をはじめ、洞爺湖有珠山ジオパーク、恐竜全身骨格化石「むかわ竜」、日本遺産「炭鉄港」、縄文遺跡群などの地域資源を活かして人流を広げながら、少子高齢化が進む中でも元気な胆振地域をつかってまいります。

皆さまの変わらぬお力添えをよろしくお願い申し上げます。

北海道議会議員 **戸田 安彦**

札幌医科大、道総研を視察

**救急医療やものづくりの
新技術を見学**

昨年10月31日、札幌医科大学と北海道総合研究機構を視察しました。札幌医大では人工心肺装置搭載車両「エクモカー」や救急医療の研修施設などを見学し、道総研では発電効率を高めた太陽光パネルや、柔らかい食品でもつぶさずにつかめるロボットハンドなどの新技術、電子機器の開発に使われる本道初の電波暗室などの施設を確認しました。



戸田安彦事務所

〒059-0904 白老郡白老町東町2丁目1-1
TEL:0144-82-8595 FAX:0144-82-8596
メール/info@toda-yasuhiko.jp



**戸田安彦
プロフィール**

- 昭和44年1月7日、白老町生まれ
- 札幌大学経営学科を卒業後、民間会社を経て、平成23年より白老町長を3期務める
- 令和5年4月、道議初当選。現在、道議会議会運営委員、同文教常任委員、同人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員

道政報告 第1回定例道議会本会議 一般質問

地域の安全・安心を守る道の施策を推進

3月6日、第1回定例道議会におきまして、一般質問のため登壇する機会をいただきました。道路などのインフラ整備をはじめ、地域にとっての重要課題について鈴木直道知事らに見解をただし、道の取り組み強化を促しました。

道路などのインフラの機能確保について

戸田 道路は経済活動や救急搬送、災害時の緊急輸送など大変重要な役割を担っているが、橋梁やトンネルなどの道路構造物の老朽化が進み、損傷が発生している。地域の方々や道路利用者の安全・安心を守るため、どのように道の機能確保を進めていくのか。

建設部長 ICTの活用によるコスト縮減や業務効率化を図り、国に対し予算確保や制度拡充を要望するなど、安全・安心な道路確保に努める。



知事 国の経営安定交付金の活用などに加え、新たに飼料費の削減につながる早期肥育技術の実証やブランド力の向上に取り組むほか、令和9年に開催予定の全国和牛能力共進会北海道大会に向けて生産基盤と競争力の強化に取り組んでいく。

地域公共交通計画の取り組み状況について

戸田 人口減少や自家用車の利用増などにより、地域公共交通は危機的な状況

にある。交通不便地域の高齢者の移動支援は喫緊の課題であり、市町村と連携して地域公共交通計画の取り組みを進めていくことが重要と考えるが、所見を伺う。

知事 利便性向上、利用促進や路線の最適化、運転手確保などについて丁寧に議論しつつ、法定協議会を通じて計画を推進していくことが重要。市町村や交通事業者と連携を図りながら、持続可能な地域交通の確保に取り組んでいく。



アイヌ文化の魅力発信について

戸田 全ての国民が尊重し合う共生社会の実現に向け、アイヌ文化の魅力を多くの人に知ってもらうことが大切である。各地のアイヌ協会が高齢化などで減少する中、小樽と足寄に地区協会が設立されたことはアイヌ政策を進める上での希望となる。今後の取り組みを伺う。

知事 より多くの方に興味を持っていただくため、伝統工芸品作製の実演や販売会の開催などの文化振興の基盤づくりを進めている。新年度、海外のインフルエンサーの活用によるPRなどの取り組みを進め、アイヌ文化の認知度の向上と理解の普及を図る。

道産肉用牛の生産振興について

戸田 地元白老町では黒毛和牛の生産を行っているが、経営者の高齢化や後継者不足などにより農家戸数が減少し、資材価格の高騰、枝肉価格の低下傾向などで厳しい経営が続いている。安心して営農に専念するために、どう取り組んでいくのか。

その他の質問項目

- ・北海道データセンターパーク ・どさんこプラザの展開
- ・再犯防止の推進 ・道や市町村における人材確保
- ・認知症施策の推進 ・少年の非行防止対策

文教委員会での質問項目

- ・道立学校におけるいじめ再発防止策 ・不登校対策プラン
- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査 ・学校における暑さ対策
- ・児童生徒の問題行動・不登校に関する調査結果
- ・英語教育の充実 ・学習移動員配置事業等 ・児童生徒の安全対策

全ての道立高校に簡易型クーラー設置

冷房整備費26億円が新年度予算で決定

2月の第1回定例道議会において総額3兆215億円の令和6年度一般会計予算案が成立いたしました。この中には、道立高校全190校の普通教室と、特別支援学校全66校の普通教室・寄宿舎などへの簡易型クーラー整備費26億円が盛り込まれています。所属する文教委員会などを通して道の積極的な対応を求めてまいりましたが、引き続きしっかり整備を進めてまいります。



所属する文教委員会などを通して道の積極的な対応を求めてまいりましたが、引き続きしっかり整備を進めてまいります。

日越外交50周年「北海道フェスティバル」

ベトナムで北海道の魅力をPR

昨年11月、日本とベトナムの外交関係樹立50周年を記念して行われた「北海道フェスティバルinハロン」出席のため、ベトナムを訪問しました。クアンニン省幹部との面会のほか、障がいを持つ子供のいるご家庭に中古の車いす5台を贈呈しました。フェスティバル会場では、北海道の食や観光の紹介、人工降雪機による雪体験、盆踊り大会、よさこいチームの演舞など多彩なコンテンツが用意され、両国の発展に向けて現地の人々と心を通わせることができました。

